

永平寺大野道路の全線開通とその効果について

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 計画課

1 はじめに

平成 29 年 7 月 8 日（土）に、中部縦貫自動車道 永平寺大野道路（永平寺 IC ～上志比 IC）の開通式典を、地域の方々や関係者あわせて約 400 名の出席のもと執り行いました。ご来賓の方々からは、お祝いの言葉を、地元企業や地元の方々からは喜びと期待のビデオメッセージを頂きました。その後、本線上でテープカットとくす玉開披、通り初めを行ったほか、地元の幼稚園の子供たちによるダンス披露、地元主催によるウォーキングイベント等も行われるなど地域が一体となって開通を祝いました。



写真-1 7月8日開通式典 テープカットの様子



写真-2 7月8日開通式典 通り初め

2 路線の概要

2.1 中部縦貫自動車道の概要

中部縦貫自動車道は、長野県松本市から岐阜県高山市を経由して、福井県福井市に至る延長約 160km の高規格幹線道路であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化等を図ることを目的とした道路です。現在までに、安房峠道路・高山清見道路（高山 IC～飛騨清見 JCT）・油坂峠道路・永平寺大野道路が供用しています。



図-1 中部縦貫自動車道位置図

2.2 開通区間の概要

永平寺大野道路は、中部縦貫自動車道の一部を構成する延長 26.4km の自動車専用道路であり、高速交通ネットワークを形成するとともに、安定した交通の確保、文化・地域資源を活かした地域経済の活性化、医療活動への支援を目的としています。これまでに、平成 5 年 6 月の越坂トンネル関連区間、平成 19 年 3 月の永平寺参道 IC ~ 永平寺 IC 間、平成 21 年 3 月の上志比 IC ~ 勝山 IC 間、平成 25 年 3 月の勝山 IC ~ 大野 IC 間、平成 27 年 3 月の福井北 JCT・IC ~ 松岡 IC 間が暫定 2 車線で順次開通し、今回の永平寺 IC ~ 上志比 IC 間が最終の開通区間となります。

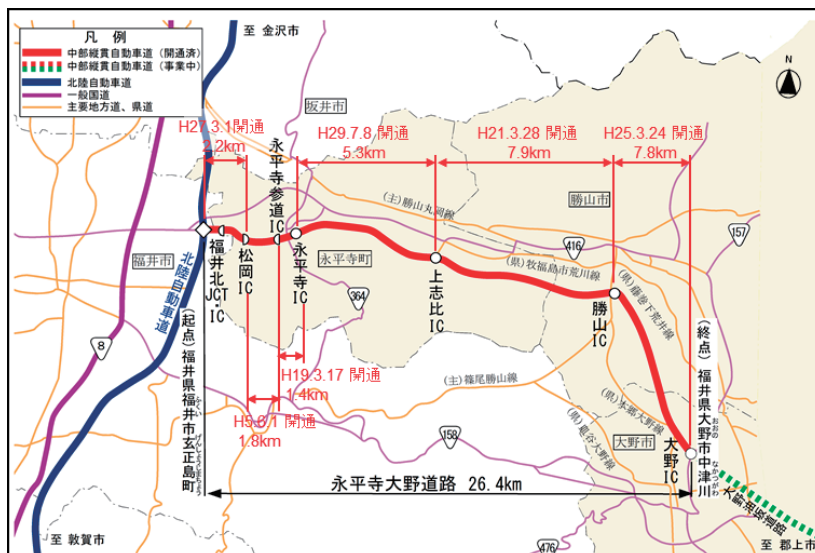


図-2 永平寺大野道路全線開通までの経緯

2.3 道路規格・道路構造

永平寺大野道路の車線数は整備計画で定められた暫定 2 車線（完成時 4 車線）で、道路規格は第 1 種第 3 級です。

道路構造は、土工区間 15.9km、トンネル区間 6.8km、高架区間 3.7km であり、ほとんどが山間部を通過します。

表-1 永平寺大野道路の諸元

延長	26.4km
幅員	12.0m (暫定 2 車)、22.0m (完成 4 車)
道路規格	第 1 種第 3 級
設計速度	80km/h
車線数	4 車線

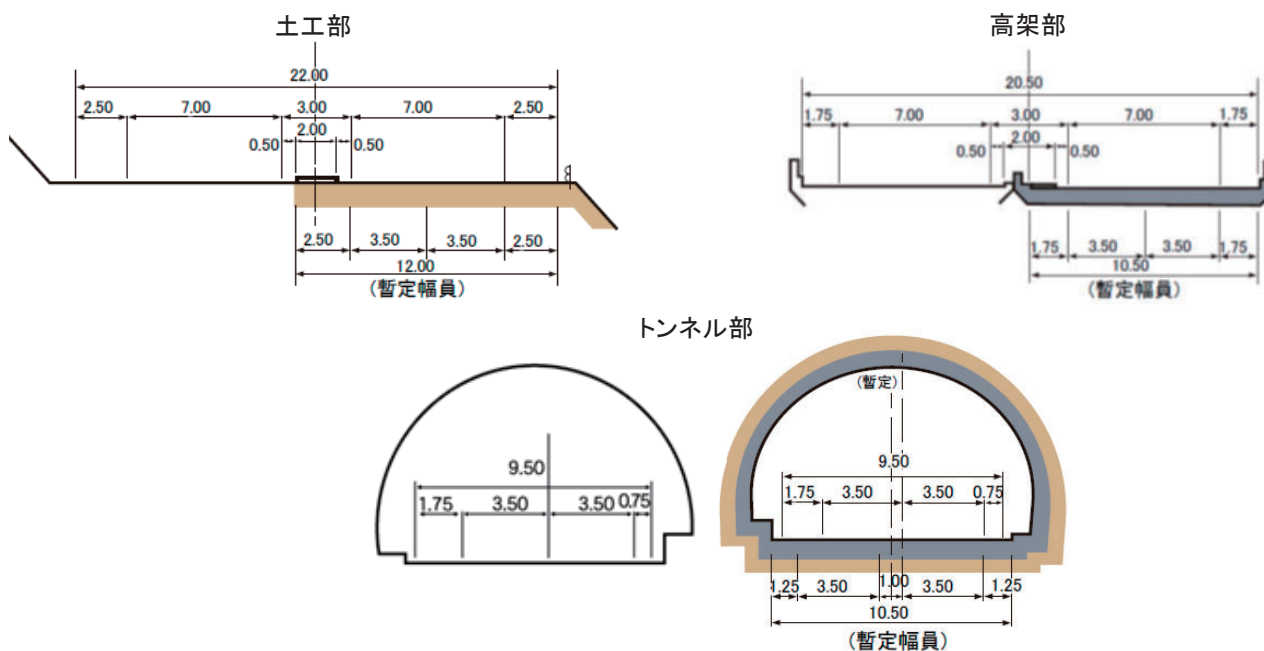


図-3 永平寺大野道路の標準横断面図 (単位：m)



写真-3 松岡高架橋



写真-4 浅見トンネル

3 開通による整備効果

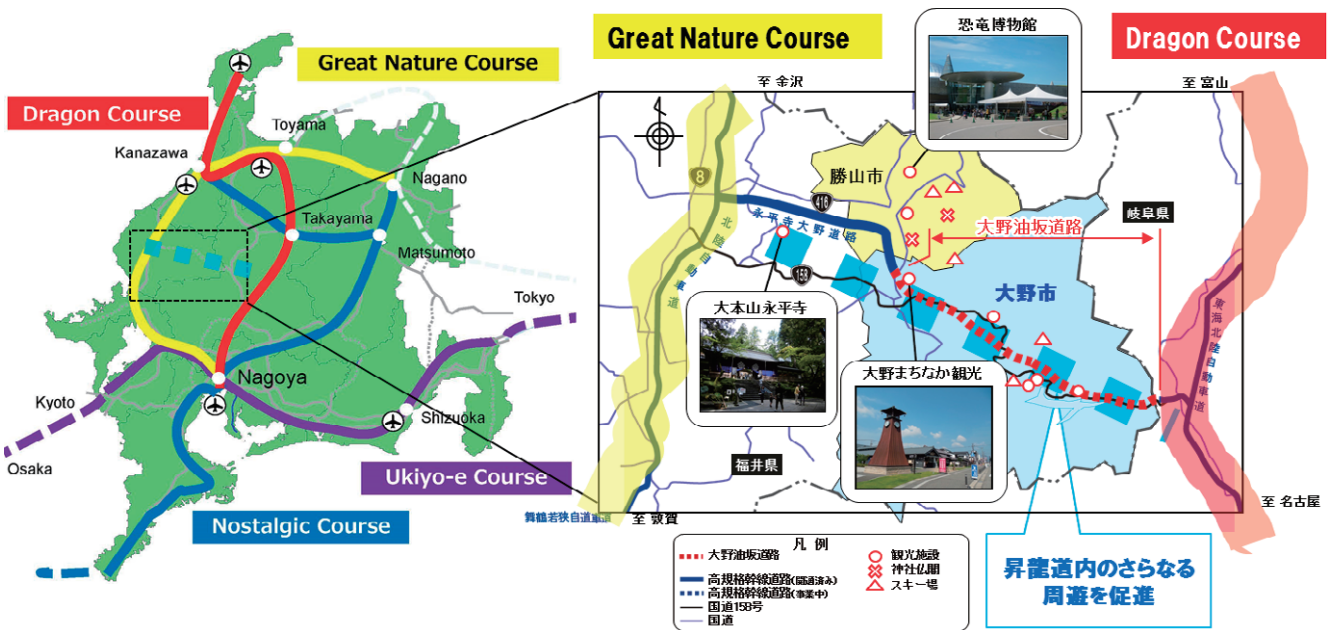
3.1 地域経済の活性化

福井県の主要観光地上位 10 箇所のうち、恐竜博物館・大野まちなか観光・大本山永平寺の 3 箇所が大野道路沿線に位置しています。また、舞鶴若狭自動車道、北陸自動車道との連携により観光地へのアクセスが向上し、今後さらに観光振興・レジャー客の増加に寄与することが期待されます。

現在、大野市を訪れる観光客のうち、約 6 割が近隣の中京・関西・北陸より訪れていますが、本線の開通により福井と中部圏・関西圏および首都圏間の交流が拡大し、広域な周遊観光の実現と観光客の増加、観光産業の活性化が期待されます。また、本線の開通により、インバウンド増進を図る広域観光周遊ルート「昇龍道*」においてさらなる周遊の促進が可能となり、アジア圏を中心としたインバウンドの増加が期待されます。

* 昇龍道とは・・・

能登半島を龍の頭に見立て中部国際空港までの南北（縦）の軸を龍の姿に重ねてイメージしており、昇龍道の PR を通じて中部・北陸地域の知名度を向上させ、中部・北陸地域内全体へのインバウンド増進を図る観光ルート



出所：「昇龍道」プロジェクト HP

図-4 昇龍道と永平寺大野道路周辺の観光施設

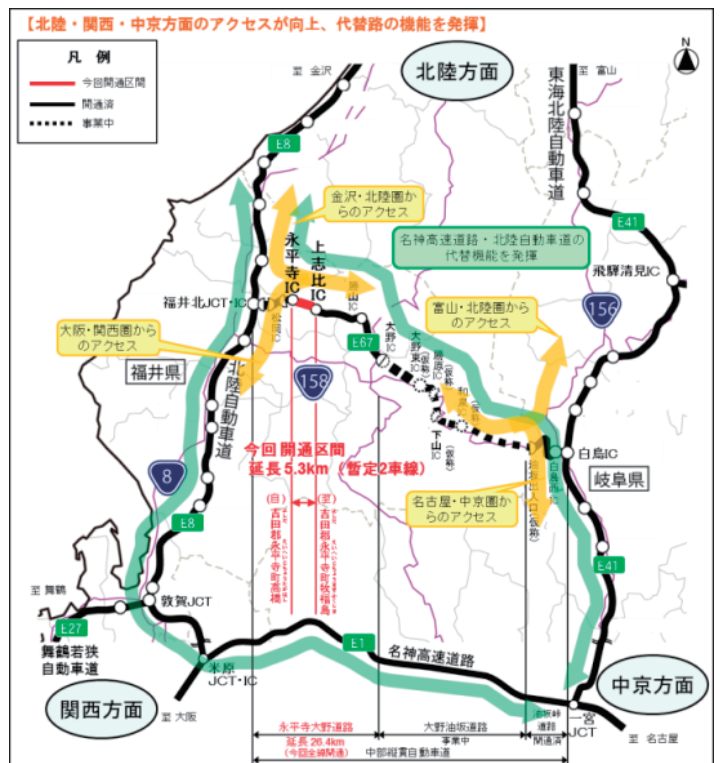
また、永平寺大野道路の全線開通は、産業振興の効果も期待されています。北陸自動車道と接続され、大野市から関西都市圏や西日本各地との交通の利便性が高まり、物流および製造を中心とした産業の企業立地促進が見込まれます。今後、中部縦貫自動車道が整備されると沿線から中京圏への複数経路が確立され、企業立地の強みとなります。



図－5 永平寺大野道路周辺の新規企業立地・増設状況

3.2 高速交通ネットワークの形成

永平寺大野道路が全線開通したことで、山間部の奥越地域（勝山市や大野市）が北陸自動車道や舞鶴若狭自動車道と高速道路で繋がりました。今後、東海北陸自動車道に繋がる大野油坂道路を整備することによって中京圏との連携も強化され、名神高速道路・北陸自動車道にて大雨や大雪による通行止めが発生した場合や災害時には代替路・迂回路としての機能の発揮が期待されます。平成16年に発生した福井豪雨時の際には、現道の国道158号が被災し、全面通行止めの影響により国道416号の交通渋滞が発生しましたが、今回の開通により安定的な交通の確保に貢献できます。



図－6 高速交通ネットワークの形成

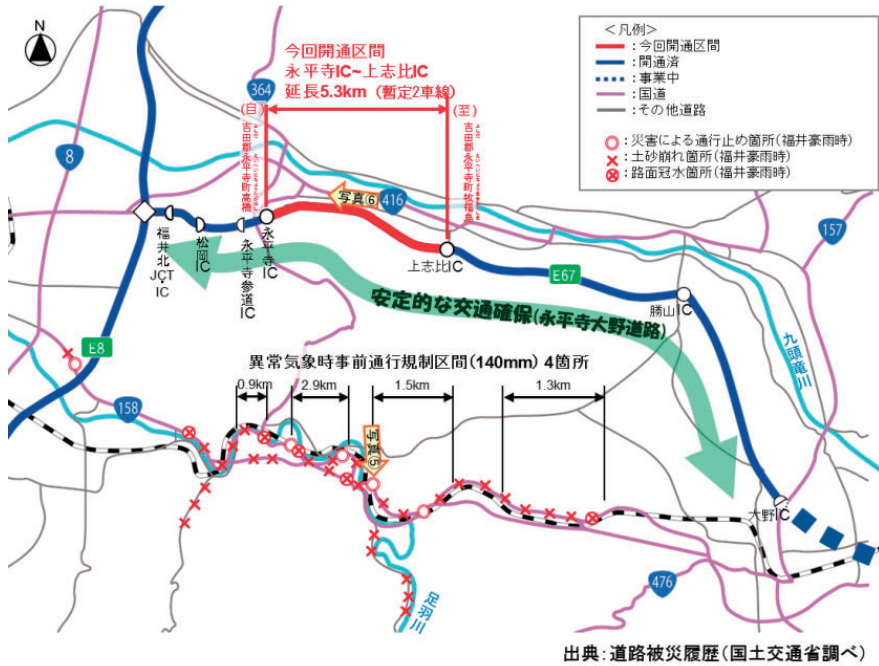


図-7 安定的な交通の確保



写真-5 福井豪雨時 (H16) の被災状況



写真-6 福井豪雨時 (H16) の交通状況

3.3 医療活動への支援

福井県嶺北地方には、第三次救急医療施設が1箇所（福井県立病院）しかなく、救急輸送の所要時間が課題でした。永平寺大野道路の整備により、搬送時間が勝山市からは現況42分から11分短縮、大野市からは現況42分から8分短縮されます**。また、開通により道路線形が改善され走行性が向上することで患者への負担軽減や路面状況の改善で安定した救急処置が可能になります。

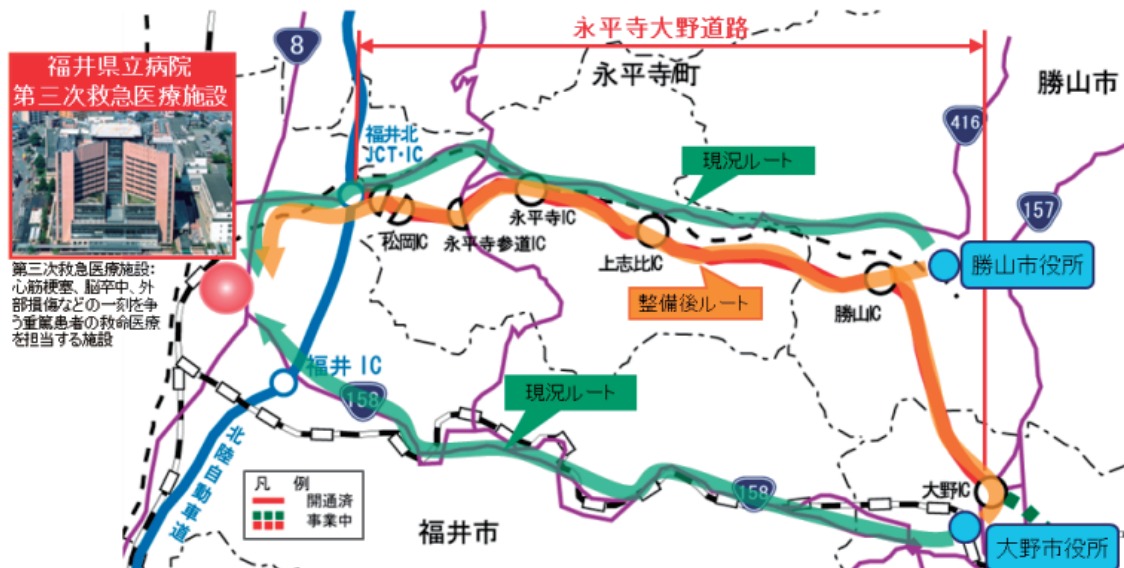


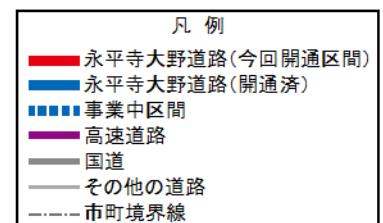
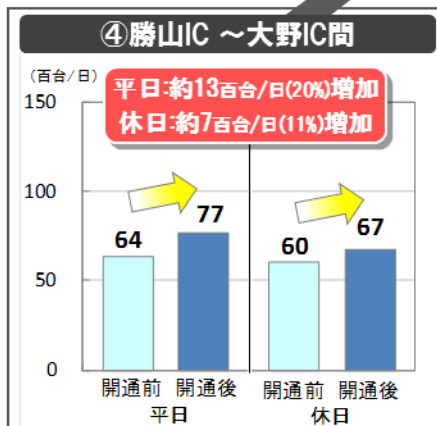
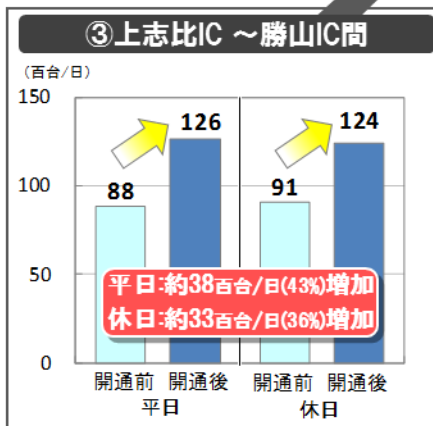
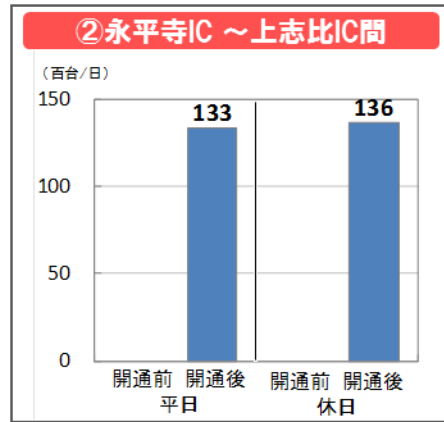
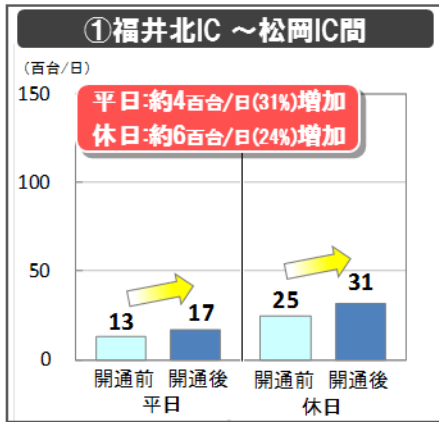
図-8 第三次救急医療施設へのアクセス向上

** 所要時間の算出条件

- ・ 現況ルート：H27 道路交通センサス（混雑時平均旅行速度）
- ・ 開通後（整備後ルート）：中部縦貫道：設計速度
- その他の路線：H27 道路交通センサス（混雑時平均旅行速度）

4 開通後の交通状況

永平寺大野道路、永平寺IC～上志比IC間の開通後の交通量は、平日約133百台/日、休日約136百台/日でした。これまでに開通していた隣接区間の上志比IC～勝山IC間の交通量は、平日・休日ともに開通前から約4割の増加となるなど、開通済みの各区間で交通量が増加しています。



【出典】①③④ 平日休日の交通量常時観測データ(福井河川国道事務所調べ)
 <開通前>【平日】平成29年6月13日(火)【休日】平成29年6月11日(日) <開通後>【平日】平成29年7月19日(水)【休日】平成29年7月23日(日)
 ② 交通量調査結果(福井河川国道事務所調べ)
 <開通後>【平日】平成29年7月19日(水)【休日】平成29年7月23日(日)

図-9 永平寺大野道路の開通後の交通量

今回の開通区間の並行道路である国道416号と勝山街道の交通量は、開通前の約15,000台から開通後は約5,900台と61%減少しています。永平寺大野道路の開通により、「上志比IC前交差点」では、朝の混雑時における走行速度が改善され、渋滞が解消される傾向にあります。

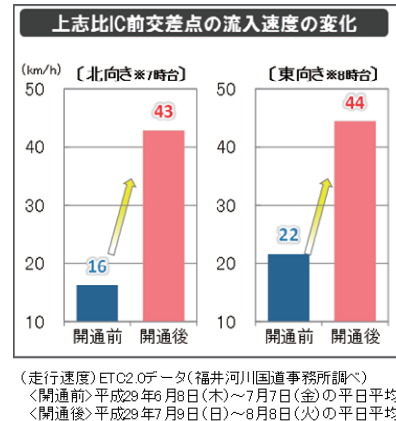
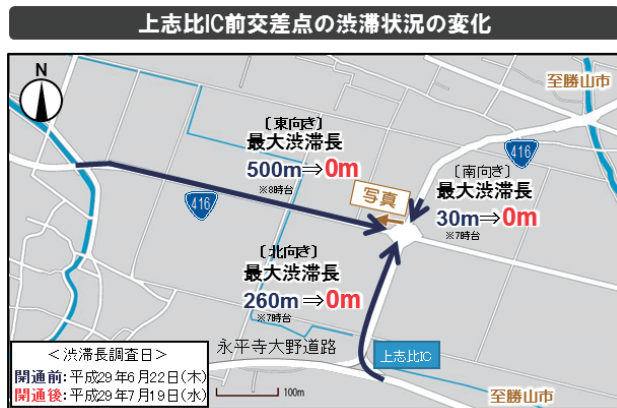
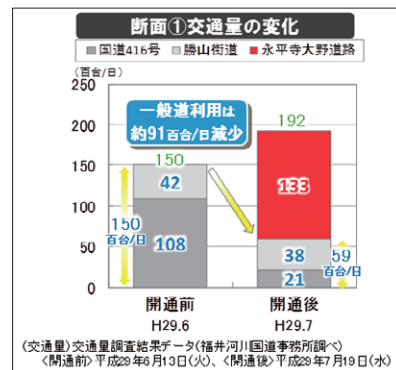


図-10 並行区間における交通量の変化

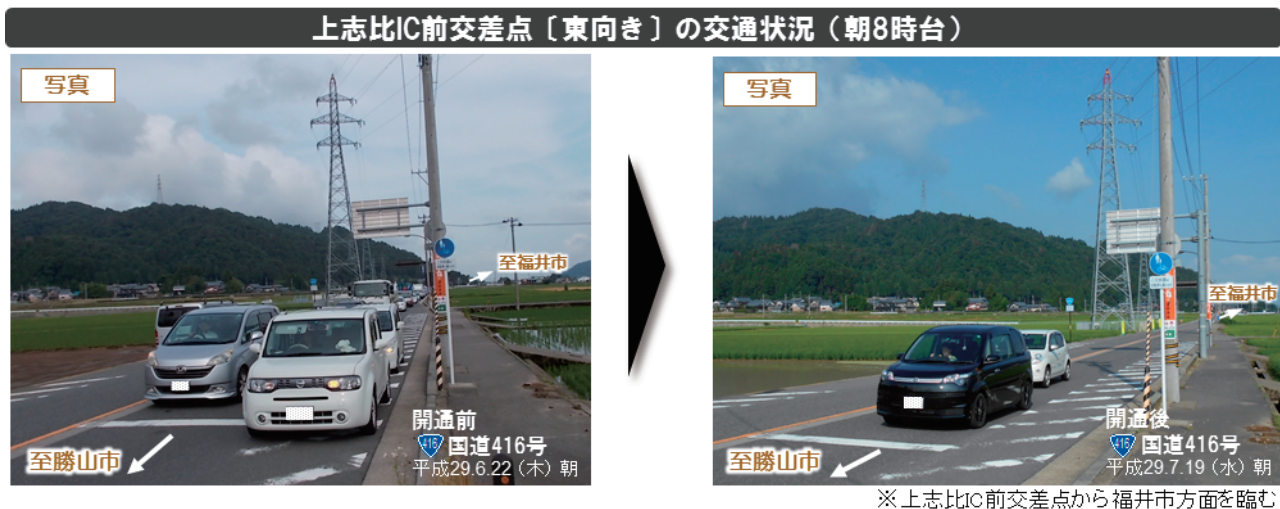


写真-7 開通前後の渋滞状況

5 おわりに

今回の開通に伴い奥越地域が金沢や富山、京都や大阪など県外とも高速道路で繋がりました。これにより観光客の増加など地域の活性化が期待されます。引き続き、開通による効果の検証を行うとともに、中部縦貫自動車道の全線開通に向けて事業を進めてまいります。

最後に、永平寺大野道路が全線開通出来たのは、地域の皆さま、工事関係者の皆さま、ならびに関係市町及び福井県等の関係各位のご理解とご協力の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。